

吉川版ブラタモリ “長峰台地を歩く”

16日、いのち応援団主催の「吉川版ブラタモリ『長峰台地を歩く』」に参加してきました。20数人が参加しました。旧吉川町役場職員だった佐藤一ニさん（故人）の労作、小字名とその境界線が入った吉川区長峰の地図を手に約3時間歩きました。案内人は津南町の佐藤雅一さんなどです。たっぷりと楽しませていただきました。

まずは佐藤さんから日本列島の成り立ちとフォッサマグマ、米山・尾神岳の特徴、長峰台地の形成などについて説明を受け、県道新井柿崎線に近い農道を歩き、東側から長峰台地を見て歩きました。佐藤さんは「長峰台地のこの高まりは何なのか」「あそこは何でえぐれているのか」など参加者に問いかけ、解説してくださいました。手にしていた地図には「大屋敷」「樋詰」「清水尻」などの地名がありましたが、地名の由来にも触れた解説はとても勉強になりました。

続いて長峰池湖畔を歩き、黒い砂浜、池に面した土手の地質などについて頸北



歴史研究会の横田秀夫さんから説明していただきました。「この古砂丘は『いくじ』と呼ばれている。この中には鉄分が含まれていて、池の水際には黒い帯ができるほどだ。この鉄と木炭を使って近くの長沢などで製鉄が行われていた」などの説明に参加者は興味津々でした。

長峰遺跡の発掘現場では、上野正長峰町内会長さん並びに佐藤さんから長峰及び樋詰遺跡の発掘の状況などについて説明していただきました。このなかで引き付けられたことの1つは顔面付き器で

す。顔面が4面のものはめずらしいとのことでした。もう1つは高さ2.9センチのミニ土偶の説明です。佐藤さんによると、「長野県で国宝とされている土偶とそっくりだ。その情報を持った人間が作ったものではないか。片手におさまる土偶としては日本でトップクラスのものだ」そうです。びっくりしたのは、遺跡の説明を聴いているときに参加していた小学3年生が縄文土器のかけらを見つけたことです。この子は将来、縄文時代の研究者になるかも知れません。

自家用車購入費の助成も…大分県杵築市の移住定住対策



降雪までに工事完了を！

県道上越安塚柏崎線の大島区板山地区内の災害復旧工事は降雪期に入る前に終わる予定でした。それが8日になって、「工事期間延伸のお知らせ」のチラシが関係地域に配布されたのです。それも完了は12月下旬の予定だということです。関係地域住民からは、「これで雪が降るまでに間に合うのか」「また延長するのではないか」などと心配と不安の声が上がっています。私の議会質問でも早期完了を県に働きかけるとの約束でした。本格的な降雪の前に必ず完了させるべきです。写真は18日の撮影です。

大分県杵築市は全国の移住定住対策でベストテンに入る自治体です。13日、市議会総務常任委員会で杵築市に行き、取組を学びました。

杵築市では子育て世代にターゲットを絞り、保育料や子ども医療費の完全無料化、小中学校入学時の祝い金支給をしているほか、定住促進補助金も出しています。そのなかで、自家用車購入補助として購入費の4分の1助成（限度額50万円）をしていることも知りました。懇談の中では、県内の他自治体との連携、空き家バンク等についても学びました。



収穫祭復活左のイラストは4年ぶりに復活した吉川区代石収穫祭。



【ブーゲンビリア】オシロイバナ科の低木。中央アメリカ、南アメリカの熱帯雨林が原産地。先日、宮崎空港の近くで初めて見かけました。実際の花は中央の小さな白い部分で周りの濃いピンク色のものは葉っぱだそうです。花の色は赤から白まであるとか。花言葉は「情熱」「秘められた思い」など。11日、宮崎市にて撮影。

はしづめ法一の活動レポート

No.2181 2024.11.25

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第八二八回 感動の再会

最初はこういうことだかわかりませんでした。来てるといわれた「同級生らしき人」の姿は、見当たらなかったからです。

先日、東京は御徒町の吉池ビルで東京吉川会の二九回目の総会・懇親会が行われた時のことでした。懇親会が始まってしばらくたった頃です。ナツハゼの小さな実を持ってテーブルをまわっていると、役員の方が、「橋爪さん、あっちに同級生だという人が見えていますよ」と声をかけてくださいました。

そもそも総会参加者名簿には中学時代、高校時代の同級生の名前はありませんでした。同級生が急遽参加するという話も聞いていません。誰だろっと思いましたが、

そうこうしているうちに、私よりも少し背の高い一人の男性が目の前に現れました。すぐには誰だか名前は出ませんでした。でも彼の目を見た瞬間、吉川区坪野出身の人だと思いました。母親譲りの細く、やさしい目は、私の同級生の京子さんと同じで、よく覚えています。「収(おさむ)さんですよ」と私から言うと、「そうですね。勉強と同級生の収です」と答えてもらいました。間違いなく、京子さんの弟さんだったのです。どうやら、私が役員さんから聞いた時、「同級生の人の弟さん」と言われたのを「同級生」と思い込んでしまっただけです。

どうあれ、びっくりしました。収さんと最後に会ったのは私が旧源中学校三年生の頃です。五十数年ぶりの出会いということになります。懐かしいし、うれしい。でも、何でまた私に会いたいと駆けつけてくださったのか。

収さんは、「きのうのブログに東京へ行くこと書いてあって、今朝はこれから東京吉川会に向かいます」と書いてあったもので……」と言われました。収さんは毎日のように私のブログを見ていてくださって、

母の晩年、私が母と一緒に暮らしていた時の様子などをよくご存じでした。愛知県に住む私の弟の勉とも時々連絡を取り合っているようでした。もちろん、ふるさと吉川への関心も強く、友人で土尻出身のWさんとともに何度かスカイトピア遊ランドにも行っているとのことでした。

話の中で土尻出身のWさんの名前が出たので、「この会場に土尻出身の人がいますよ」と言っていて、この日、参加しておられたスカイトピア遊ランドの内藤さんのところに案内しました。「内藤さん、土尻出身のWさん、知っていますか」と言うと、「おれの弟だよ」。そこに、吉川区尾神出身の住職さんで、旧水源分校の同窓の大善(おおよし)さんも加わって、話は一気に盛り上がりました。

その後、収さん、大善さん、そして内藤さんと私の四人で記念撮影もしました。収さんには私のテーブルのところにも来てもらい、懐かしい話を続けました。

東京吉川会には、上野の東天紅で開催された第一回目の時から私は二十数回参加してきました。参加すると、毎回のよう懐かしい出会いがあります。初対面ではあるものの、私とのつながりを発見する貴重な出会いもありました。

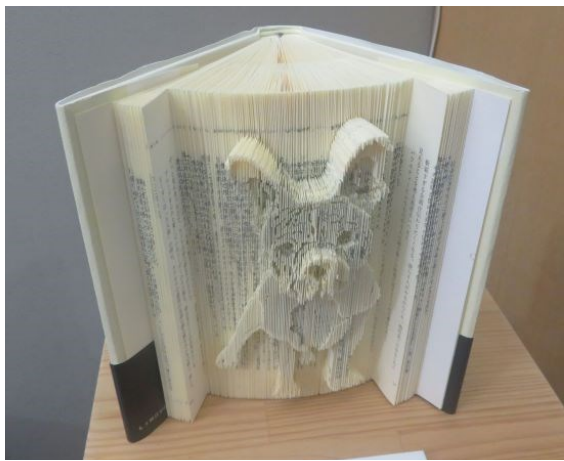
昨年場合は、私の叔母が嫁いだ家のM子さんと結婚、夫婦仲良く暮らし、精密な工芸を得意とする山方出身の竹内さんと再会し、とても楽しい時間を過ごしました。

でも、今回の収さんのような形での再会は初めてでした。愛知県在住の私の弟との交流の影響もあったとは思いますが、私のブログをずっと読み続け、わが家のことやふるさととの情報を知るなかで気持ちが徐々に高ぶり、ついには頂点に達した感じで、吉川会の会場に来てくださった人は収さんが初めてです。会場で別れるとき、私は力いっぱい収さんの手を握りました。

板倉、柿崎など市内各地で作品展開催

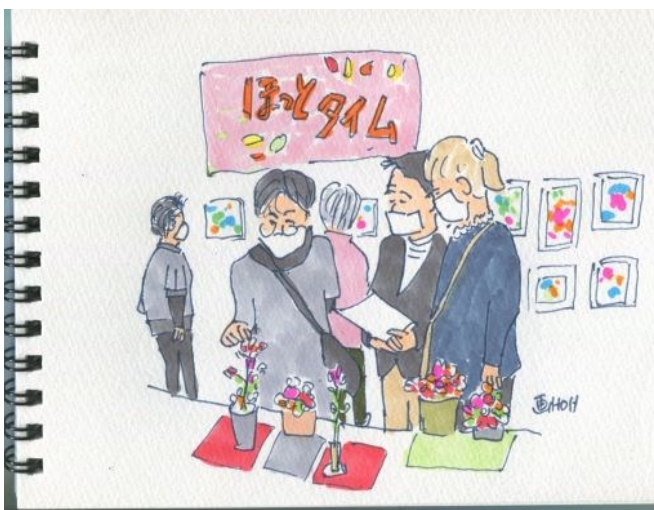
10月半ば頃から、市内各地で色々な作品展が開催されています。17日は2つの会場をまわり、作品展を楽しませていただきました。

このうち板倉区のましの里記念館では、山部の長嶺久司さんのブックアートを観てきました。1冊の本が見事な芸術作品に変わるので、びっくりです。また長嶺さんは写真や葉っぱアートもやり、多才ぶりを発揮されていました。右の写真は本で作ったブルドックです。素敵な作品でした。



柿崎区の桃園では、17日の1日だけの「小さな作品展」が今年も行われました。絵や写真、パッチワークなどの作品は身近な花や人などを題材にしたものが多く、とても親しみを感じました。

会場では作者の人たちが互いに感想を述べあい、楽しい雰囲気が漂っていました。日頃からみんなで作っているグループも継続していて、ますます活発化しそうな感じでした。



上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	11月13日(水)	11月20日(水)
上越消防署	0.053	0.050
上越南消防署	0.047	0.047
新井消防署	0.047	0.050
頸北消防署	0.047	0.047
頸南消防署	0.060	0.063
東頸消防署	0.050	0.050
名立分遣所	0.060	0.053
高士分遣所	0.050	0.053